

社会福祉法人ニコニコハウス平成27年度事業報告書

I 法人の概要

主たる事務所の所在地	愛知県名古屋市中区鶴里町3丁目40番地1（電話 052-825-0711）		
代表者職氏名	理事長 石川三枝子		
法人認可年月日	平成8年6月13日	設立登記年月日	平成8年6月21日

II 法人の行う事業

事業の種類	種類及び名称	管理者氏名	利用者数	職員数
第2種 社会福祉 事業	障害福祉サービス事業 (ニコニコハウス鶴里)	松岡 茂 (H27.4.1~12.31) 石川修平 (H28.1.1~)	40名	常勤8名 非常勤20名
	老人デイサービスセンター (ニコニコデイサービス鶴里)	浅井 志朗 (H27.4.1~9.30) 阿隅 貴臣 (H27.10.1~)	29名	常勤4名 非常勤12名
	障害福祉サービス事業 (ニコニコホーム)	松浦信太郎	27名	常勤7名 非常勤20名
	一般相談事業 (南区障害者基幹相談支援センター(支援センターなごみ))	儀保 高雄		常勤3名
	特定相談支援事業 (南区障害者基幹相談支援センター(支援センターなごみ))	儀保 高雄		
	障害児相談支援事業 (南区障害者基幹相談支援センター(支援センターなごみ))	儀保 高雄		
	障害福祉サービス事業 (ヘルパーステーションわはは)	井上 英也	約40名	常勤3名 非常勤1名
	移動支援事業 (ヘルパーステーションわはは)	井上 英也	約56名	登録ヘルパー 約25名
	障害福祉サービス事業 (ショートステイどんたく)	杉山 誠 (H27.4.1~12.31) 松浦信太郎 (H28.1.1~)	約100名	常勤3名 非常勤5名
	障害福祉サービス事業 (ニコニコハウス鳴海)	石川 修平 (H27.4.1~12.31)	20名	常勤4名

		杉山 誠 (H28. 1. 1～)		非常勤 11 名
	特定相談支援事業 (つるさと相談支援事業所)	飯谷 直人		常勤 1 名
	障害児相談支援事業 (つるさと相談支援事業所)	飯谷 直人		非常勤 1 名
公益事業	居宅介護支援事業 (介護支援センターなごみ)	阿隅 貴臣 (H27. 4. 1～9. 31) 浅井 志朗 (H27. 10. 1～)		常勤 3 名

(職員数は平成 27 年 4 月 1 日現在)

Ⅲ 役員（理事定数 8 名、監事定数 2 名）の状況

役職	氏名	就任年月日	備考	職業、社会的活動、所属等	理事会 出席回数
理事長	石川三枝子	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	3 回
理事	石川 武彦	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	3 回
理事	齋藤 義彰	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	3 回
理事	塩原 功一	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	2 回
理事	岡部 裕司	平成 8 年 6 月 23 日	重任	無職、法人評議員	3 回
理事	青山 修司	平成 18 年 6 月 23 日 (～H27. 12. 31)	重任	片平学区児童民生委員会 会長 法人評議員	1 回
理事	大橋 伸二	平成 28 年 1 月 1 日	新任	片平学区児童民生委員会 会長 法人評議員	1 回
理事	成田ちづ子	平成 26 年 6 月 23 日	新任	春日野学区児童民生委員会 会長 法人評議員	2 回
理事	松岡 茂	平成 16 年 6 月 23 日	重任	ニコニコハウス鶴里管理者 障害者支援部門管理者 法人評議員	3 回
監事	渡邊 哲基	平成 26 年 6 月 23 日	新任	税理士	3 回
監事	青木 仁子	平成 8 年 6 月 23 日	重任	弁護士	0 回

Ⅳ 評議員（定数 17 名）の状況

役職	氏名	就任年月日	備考	職業、社会的活動、所属等	評議員会 出席回数
評議員	八田 一郎	平成 10 年 5 月 17 日	重任	ニコニコハウス鶴里保護者	3 回
評議員	小池 久	平成 10 年 5 月 17 日 (～H27. 5. 24)	重任	ニコニコデイサービス鶴里利用者	0 回

評議員	丸田 尊峰	平成 27 年 5 月 25 日	新任	行政・司法書士、成年後見人	2 回
評議員	田中 清	平成 22 年 5 月 17 日	重任	鶴里東町内会会長	3 回
評議員	成田 民代	平成 23 年 5 月 22 日	重任	春日野学区民生児童委員	2 回
評議員	鳥居 順子	平成 26 年 5 月 17 日	新任	片平学区民生児童委員	3 回
評議員	進 千代子	平成 17 年 3 月 27 日	重任	春日野学区民生児童委員	3 回
評議員	阿隅 貴臣	平成 24 年 12 月 2 日	新任	介護支援センターなごみ管理者 (H27. 4. 1～9. 30) ニコニコデイサービス鶴里管理者 (H27. 10. 1～)	3 回
評議員	松岡 茂	平成 15 年 5 月 17 日	重任	ニコニコハウス鶴里管理者 障害者支援部門管理者 法人常務理事	3 回
評議員	石川 武彦	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	3 回
評議員	齋藤 義彰	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	3 回
評議員	塩原 功一	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	2 回
評議員	岡部 裕司	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事	3 回
評議員	浅井 志朗	平成 17 年 12 月 11 日	重任	ニコニコデイサービス鶴里管理者 (H27. 4. 1～9. 30) 介護支援センターなごみ管理者 (H27. 10. 1～)	1 回
評議員	八木 俊介	平成 16 年 12 月 5 日	重任	労務経営コンサルタント	2 回
評議員	青山 修司	平成 18 年 5 月 17 日 (～H27. 12. 31)	重任	片平学区児童民生委員会 会長 法人理事	1 回
評議員	大橋 伸二	平成 28 年 1 月 1 日	新任	片平学区児童民生委員会 会長 法人理事	1 回
評議員	成田 ちづ子	平成 26 年 5 月 17 日	新任	春日野学区児童民生委員会 会長 法人理事	3 回
評議員	石川三枝子	平成 10 年 5 月 17 日	重任	法人理事長	3 回

V 理事会開催状況

開催年月日	出席者数	議決事項
平成 27 年 5 月 24 日	理事 6 名 監事 1 名	平成 26 年度事業報告の議決 平成 26 年度決算の議決 評議員の委嘱の議決
平成 27 年 12 月 20 日	理事 7 名 監事 1 名	わははソフト購入に伴う施設整備積立金取り崩し案の議決 平成 27 年度第 1 次補正予算案の議決 マイナンバー制度開始に伴う就業規則の改正案の議決 マイナンバー制度開始に伴う個人情報保護規程の改正案の議決

		評議員の委嘱の同意
平成 28 年 3 月 27 日	理事 8 名 監事 1 名	緑区事務所ソフトの購入案の議決 平成 27 年度積立預資産積立案の議決 平成 27 年度第 2 次補正予算案の議決 平成 28 年度事業計画案の議決 就業規則、賃金規程の改正案の議決 平成 28 年度の施設整備及び施設整備等積立資産の取り崩し案の議決 平成 28 年度予算案の議決 契約に関する規則の改正案の議決 評議員の委嘱の同意

VI 評議員会開催状況

開催年月日	出席者数	議決事項
平成 27 年 5 月 24 日	評議員 15 名 監事 1 名	平成 26 年度事業報告の承認 平成 26 年度決算の承認
平成 27 年 12 月 20 日	評議員 15 名 監事 1 名	わははソフト購入に伴う施設整備積立金取り崩し案の承認 平成 27 年度第 1 次補正予算案の承認 マイナンバー制度開始に伴う就業規則の改正案の承認 マイナンバー制度開始に伴う個人情報保護規程の改正案の承認 理事の選任の同意
平成 28 年 3 月 27 日	評議員 14 名 監事 1 名	緑区事務所ソフトの購入案の承認 平成 27 年度積立資産積立案の承認 平成 27 年度第 2 次補正予算案の承認 平成 28 年度事業計画案の承認 就業規則、賃金規程の改正案の承認 平成 28 年度の施設整備及び施設整備等積立資産の取り崩し案の承認 平成 28 年度予算案の承認 契約に関する規則の改正案の承認

VII 法人として重点的に取り組んだ事項

- ・ 基本理念の確認と浸透

年度当初にクレドを配布・説明会を実施、各事業所毎で議論を重ねる等取り組みを行った。

- ・ 事業体制の整備

重点目標であるデイサービスの改善取り組みについては、十分な改善はできなかった。

福祉・介護分野の人材不足により各事業の拡大はせず現状維持、縮小、休止を図るなど、現状の体制維持に終始したが、管理体制を変え活性化を図るなどの取り組みを実施した。

- ・ 人材育成

OJT を学び、体制を整えようとしたが十分にはできなかった。が、管理者勉強会の定期実施、外部研修の積極的参加、

外部研修の発表大会、法人内インシデント研究会を実施したりと研修機会を増やすとともに、内容を工夫した。

・環境整備

固定資産管理ソフト、ヘルパー事業所管理ソフト、緑区事業所予定・実績管理ソフトなどパソコン環境、事務環境の整備を多く図った。が、導入したソフトを使いこなすスキル不足も課題としてあがった。

・地域活動

町内関係団体への法人建物スペースの積極的貸出、法人行事でのご当地ゆるキャラ使用、地域盆踊りの参加・連携、町内清掃参加等、積極的関係性構築に努めた。

・広報活動

ホームページの掲示内容を増やしたり、更新回数を増やすなどの既存媒体を使つての積極的広報活動は図れなかった。

・その他

法人全体においては管理事務業務をおこなえる者の、各事業（特に高齢分野、障害生活支援分野）においては現場職員の人材不足が深刻化し、余裕のない業務体制を敷かなければならない事業が多くあったものの、法人全体としての求人活動は日々の事務処理に追われ動くことができなかつた。

各事業所の管理者が独立して事業計画の作成、予算の作成ができ、法人全体の議論ができる状態となった。

VIII 本部監査指摘事項及び改善状況

本部監査なし

IX 施設運営及び事業運営の状況

A ニコニコデイサービス鶴里（指定通所介護・介護予防通所介護事業）

（障害者基準該当自立訓練・生活介護事業）

1 職員構成（平成27年4月1日現在）

常勤	4名	施設長1、生活相談員兼介護職員2、介護職員1
非常勤	12名	看護職員4、介護職員6

2 事業実績

指定通所介護・介護予防通所介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
実施日数	26	27	25	27	26	26	27	25	23	25	24	26	306
職員数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
利用者数	40	42	42	37	39	35	37	39	37	42	42	38	38.1
要支援1	24	15	9	5	4	4	8	4	4	4	4	4	89/7.4
要支援2	41	66	70	73	77	57	45	41	44	42	58	58	672/56
要介護1	180	191	176	198	182	180	167	161	174	157	154	148	2068/172.3
要介護2	82	67	72	83	107	94	86	77	80	79	79	88	994/82.8
要介護3	62	65	84	57	45	63	69	88	94	83	80	88	878/73.2
要介護4	14	13	12	8	8	6	4	6	5	6	6	8	96/8
要介護5	51	39	45	34	32	33	31	37	38	45	48	42	475/39.6

延べ利用数	454	456	467	458	455	437	406	414	439	416	429	436	5267/438.9
-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------------

障害者基準該当自立訓練・生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均
自立訓練	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活介護	73	74	97	120	102	110	133	132	122	105	108	104	1280/106.7
延べ利用数	73	74	97	120	102	110	133	132	122	105	108	104	1280/106.7

平均利用者数（高齢・障害合計）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一日平均	20.2	18.6	18.6	19.7	17.9	17.8	18.5	16.5	17.9	18.4	18.4	19.5	18.5

3 主な行事

花見 4/3～4

避難訓練 6/30、10/5

夏祭り 8/26～29

運動会 10/29～31

クリスマス会 12/24～26

外出（春と秋の2回、小グループを編成して実施）

ボランティアによるピアノ・フルート演奏会、大正琴演奏会、歌と踊りの会、歌の会など随時実施

4 監査指摘事項及び改善事項

平成27年度監査なし。

5 その他問題点及び反省事項

- 職員体制では、男性正規職員が6月からメンタル不調による欠勤が続き、結果的に今年度いっぱい休職となった。代替職員を募集するも確保できず、総務等他事業所から応援職員に来てもらうなどして乗り切った。管理者も現場に入りづめで、しばしば管理業務に影響が生じた。12月に嘱託職員を正規職員に登用、3月より人材派遣により1名男性職員の勤務が開始した。
- 延べ利用者数をみると、介護保険利用者では昨年度よりも約1200名の減少、障害利用者では昨年度よりも約150名の増加となっており、高齢障害者の日中活動先としての色彩が強くなっている。一方、職員間では、知的障害や精神障害の方に対する理解不足から、対応に苦慮する場面が散見される。利用者に対する適切なサービス提供および職員のメンタルケアといった双方の観点から、今後方策を立てる必要がある。
- 10月に管理者交代して以降、マンパワー不足による慢性的な業務過多への対応策として、正規職員の事務作業の簡素化やサービス内容の部分的縮小を実施した。

B 介護支援センターなごみ(指定居宅介護支援事業)

1 職員構成

(平成27年4月1日～9月30日)

常勤	3名	介護支援専門員（内1名は管理者を兼務）
非常勤	0名	

(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

常 勤	4名	介護支援専門員(内1名は管理者を兼務 内1名は鶴里相談事業所相談支援専門員兼務)
非常勤	0名	

2 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅介護支援事業	60	63	60	59	61	62	61	60	58	61	63	59	727
予防支援受託事業	23	23	28	24	24	22	25	26	26	28	24	28	301
認定調査	7	4	3	11	5	10	3	5	3	6	5	8	70
なんでも相談	9	5	5	5	6	10							40
いきいき相談							1	0	0	4	0	0	5

3 監査指摘事項及び改善事項

平成27年度監査なし

4 その他問題点及び反省事項

- ・ 昨年度と比べて、介護支援にかかるケアプラン作成実績数は延べ16件の減少、予防支援受託件数は延べ98件の増加となった。年間通じてのケアマネジメント新規依頼件数は32件で、昨年度より12件の増加であった。新規ケースの依頼元については、約半数の15件がいきいき支援センターからの依頼であった。また、年間の入院者数は延べ41人で、ひと月あたり約3.4人が入院された計算となった。
- ・ 昨年と引き続き、重点目標として、地域との関係づくりを掲げて、近隣学区で開催されているサロン等を積極的に訪問して、サロンを運営されている地域の役員の方々との交流を図った。いきいき支援センターと当事業所共同で、区政、民生向けや、他事業所の認知症講座を実施した。

C つるさと相談支援事業所（特定相談支援事業、児童相談支援事業）

1 職員構成（平成27年10月1日現在）

常 勤	2名	相談支援専門員2名、管理者（兼務）1名、介護支援専門員（兼務）1名
非常勤	1名	

2 事業実績

基本相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談	37	24	25	23	32	38	40	35	33	25	67	68	447
来所相談	1	2	1	4	4	0	3	0	0	0	0	1	16
訪問相談	13	10	22	18	12	15	16	15	10	11	24	19	185

計画相談

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サービス等 利用計画案	12	6	13	13	10	10	6	11	12	6	7	12	118
サービス等 利用計画	15	11	6	13	13	10	10	6	13	10	6	7	120

モニタリング	24	27	33	25	20	26	26	25	31	31	27	30	325
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

3 監査指摘事項及び改善事項

平成27年度監査なし。

4 その他問題点及び反省事項

- ・今年度下半期より、新たに常勤職員（介護支援専門員兼務）を迎えて、常勤換算1.8人の体制で相談業務を行った。事業所が立ち上がって3年が経過し、着実にご利用者の人数が増加してきたとともに関係性も深まってきており基本相談も増加傾向にある。また、ご本人だけでなくご家族の高齢化によるサービス調整も増えてきており高齢分野との連携も重要になってきている。このように基本相談の需要が高まってきていることから、より迅速かつ丁寧な相談支援体制づくりが必要になってきている。

D 支援センターなごみ（名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業）

（特定相談支援事業・一般相談支援事業・障害児相談支援事業）

1 対象者

名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業	南区在住の障害者及び総合支援法対象難病患者
特定相談・一般相談・障害児相談支援事業	障害児者及び総合支援法対象難病患者

2 事業内容

名古屋市障害者基幹相談支援センター運営事業	相談（訪問・外来）・障害程度区分認定調査・自立支援協議会運営、苦情受付等
指定相談事業	基本相談、サービス等利用計画作成

3 職員構成（平成27年4月1日現在）

常勤	3名	副センター長1名、相談支援専門員2名
----	----	--------------------

4 事業実績

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
訪問相談	171	128	121	134	103	97	124	97	97	107	96	131	1,406
外来相談	270	220	208	195	178	194	180	162	155	175	185	197	2,319
自立支援協議会	2	2	6	2	5	4	4	4	7	4	0	4	46
認定調査	47	28	53	55	34	29	35	38	45	34	45	34	477
配食サービス	9	3	9	2	8	2	11	11	8	4	13	11	86
計画相談	22	21	21	26	19	20	16	13	12	8	12	18	198

5 監査指摘事項及び改善状況

実地指導日：平成27年6月9日

文書指示事項	改善状況
【特定相談・一般相談】 ・基本相談支援及び計画（一般）相談支援の実施状況を揭示すること。	・基本相談支援及び計画（一般）相談支援の実施状況を事業所に掲示した。
【障害児相談】	

<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書、運営規程、契約書において、説明すべき内容等に不備があった為、整備すること。 ・障害児相談支援の実施状況を掲示すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書については、障害児支援給付費額を正確な額に修正。苦情受付先を障害者支援課から子ども福祉課に訂正。運営適正化委員会の住所及び連絡先を修正した。運営規程については、法律名を修正し、児童福祉法の条項を追加。苦情解決に関する規定に重複記載があったため修正した。契約書については、障害者支援施設との文言を児童福祉施設等に修正した。 ・障害児相談支援の実施状況を事業所の見やすい場所に掲示した。
---	--

6 その他問題点・反省点・改善点等

- ・開設初年度となった昨年に比べると、相談件数は年間延べ1200件程の減少、実人数では40名弱の減少となり、開設当初の混乱は収まってきている。新規相談は週4～5件程であり、幾分落ち着いて相談業務をおこなうことができる状況となった。下半期は児童の新規相談が増加傾向であった。児童へのサービス提供に関する支援だけでなく、親自身が疾患等で支援が必要なケースが多かった。関係する機関が増えるにつれ、連携の難しさが浮き彫りになった。
- ・昨年度採用できなかった精神保健福祉士については、今年度代表法人のほうで2名を採用したが、内1名は3か月で退職、残りの1名も相談業務に不慣れな中で業務にあたっている。昨年課題となった精神障害者に対する支援方法について、今年度は毎月定期的に勉強会を実施してスキルアップを図った。
- ・自立支援協議会については、昨年発足した6つのワーキンググループ（福祉事業所、相談支援、児童、防災、地域福祉、入院時コミュニケーション）がそれぞれ代表を中心に活動しており、支援センター職員は事務局としてサポートしている。各WGの活動については、活発におこなっているところと開催頻度の少ないところにバラつきがある。自立支援協議会の活動を関係事業所や地域住民により知っていただくために、ホームページを開設して広報を始めた。名古屋市の自立支援協議会については、設置に向けた検討会が継続的に開催されている。

E ヘルパーステーションわはは

1 事業内容

- ・障害福祉サービス事業：居宅介護（身体介護・家事援助・通院等介助）・重度訪問介護・行動援護・同行援護
- ・移動支援事業

2 対象者：障害福祉サービス事業：特定しない / 移動支援事業：特定しない

3 職員構成（H27年4月1日現在）

常勤	3名	管理者1	サービス提供責任者2
非常勤	23名	事務員1	登録ヘルパー23（うち、1名は事務員兼務）

4 事業実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (月平均)
身 体 介 護	件数	42	65	72	74	78	67	70	78	77	71	94	77	865 (72.0)
	提供	61.5	57	65.5	71	75.5	62	77	72	69.5	62.5	83.5	68	825

護	時間													(68.7)
	利用者数	13	8	8	8	8	7	8	8	8	7	7	7	97 (8.0)
家事 援助	件数	64	59	75	62	62	56	64	68	73	65	80	79	807 (67.2)
	提供時間	63.5	65	81.5	57.5	60.5	49	64	68	77	64.5	76	74.5	801 (66.7)
	利用者数	9	9	10	9	8	9	8	9	9	9	9	9	107 (8.9)
通院 等 介 助	件数	0	0	0	0	0	3	3	0	2	0	2	0	10 (0.8)
	提供時間	0	0	0	0	0	6.5	5	0	4	0	5	0	20.5 (1.7)
	利用者数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	4 (0.3)
重 度 訪 問	件数	7	12	8	11	8	4	8	8	5	8	7	15	101 (8.4)
	提供時間	32.5	45.5	30	34.5	22.5	16	36.5	23	15	26	22.5	41	345 (28.7)
	利用者数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	35 (2.9)
同 行 援 護	件数	35	33	50	47	33	41	50	28	66	47	50	66	546 (45.5)
	提供時間	59	58	70.5	60	53.5	65.5	66.5	57.5	106.5	74	97	103.5	871.5 (72.6)
	利用者数	6	5	6	5	5	5	7	6	6	5	7	6	69 (5.7)
行 動 援 護	件数	42	98	42	37	39	39	39	41	39	42	42	46	485 (40.4)
	提供時間	116.5	37	117.5	94.5	122	113.5	110	117.5	113.5	110.5	115.5	131.5	1361 (113.4)
	利用者数	16	14	16	13	15	15	16	13	16	15	14	15	178 (14.8)
移 動 支 援	件数	282	293	339	316	281	287	315	311	320	303	334	357	3738 (311.5)
	提供時間	527.5	611.5	632	598	603	567	597	649	660	627	647.5	668	7387.5 (615.6)

利用者数	49	58	58	57	54	60	60	57	56	57	57	56	679 (56.5)
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---------------

5 監査指摘事項及び改善状況

監査実施日：平成 27 年 6 月 17 日

指摘事項	改善状況
<ul style="list-style-type: none"> ・運営規程、契約書、重要事項説明書の不備 ・サービス記録の確実な記載 ・初回加算について、支援計画書未作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・指摘内容について修正し、変更届提出 ・書面を再整備し、以後確実に記載している。 ・支援計画書を作成。返還手続きを行った。

6 その他問題点及び反省事項

- ・利用者数、サービス提供時間の増加に伴ない、サービス提供責任者の配置を拡充。(管理者が兼務)
- ・支援計画書を再整備。順次更新するとともに、ヘルパーへの引継ぎ業務に活用している。
- ・事務の効率化、老朽化してきた事業管理ソフトを更新した。H28 年 3 月分から新ソフトに移行した。
- ・持続可能なヘルパー体制を維持していく上で、ヘルパーの確保が急務であり、慢性的な課題でもある。

F ショートステイどんたく（短期入所事業・日中一時受入事業）

1 対象者

短期入所事業	児童・知的障害者・身体障害者・精神障害者
日中一時受入事業	児童・知的障害者

2 利用定員

12名

3 職員構成（平成 27 年 4 月 1 日）

常勤	3名	管理者・介助員の兼務 2
非常勤	5名	介助員 4、調理員 1

4 事業実績

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均/月
短期入所	延利用数	201	175	195	211	188	181	190	172	185	166	180	178	2222	185.2
	実人数	75	65	78	82	76	79	85	71	69	71	73	71	895	74.6
日中一時	延利用数	91	70	89	81	78	70	63	56	63	0	1	2	664	55.3
	実人数	54	44	54	47	49	46	47	40	44	0	1	2	428	35.7
営業日数		27	20	27	27	26	27	26	24	23	25	25	26	303	25.3

※短期入所 平均/日：7.3日 日中一時 平均/月：2.2日

5 監査指摘事項及び改善状況

平成 27 年度監査なし

6 その他問題点及び反省事項

- ・ 1 月から管理者交代に伴い日中一時支援の原則中止。利用者のニーズに対して継続運営できず。
- ・ 1 月よりショートステイどんたくとニコニコホームの一体的運営。今後業務整理の必要性あり。
- ・ 利用者のアセスメント他再度状況把握の必要性があり。

G ニコニコホーム（共同生活援助）

1 入居者状況（平成28年3月31日現在）

共同生活住居名	入居人数
ホーム片平	4人（平成27年4月まで3人）
ホーム森下公園	4人
ホーム松が根台	4人
ホーム光正寺	3人
ホーム森下北	4人
ホーム森下南	4人
ちゃれんじホーム野並	4人（3ヶ月毎交代）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	0	7	5	1	1	14
女性	0	1	4	3	0	1	9
合計	0	1	11	8	1	2	23

（ちゃれんじホーム入居者除く）

障害程度区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
人数	0	2	3	6	10	2

（ちゃれんじホーム入居者除く）

就労状況	人数
福祉就労（生活介護事業所）	17
福祉就労（精神障害者小規模作業所）	1
一般就労	2
介護保険デイサービス	2
所属なし	1

（ちゃれんじホーム入居者除く）

2 職員構成（平成27年4月1日）

常勤	7名	管理者1（内兼務1）、サービス管理責任者1、世話人5（内兼務1）、生活支援員1
非常勤	20名	世話人5、生活支援員15

3 主な行事

- ・ ニコニコ秋まつり・ホーム1泊旅行（関西方面）・その他（誕生日会・各ホームごとでの日帰り外出等）

4 昨年度との相違点

〔本体〕

- ・ ホーム片平1名空室があったが、年度途中で1名の入居者をむかえた。
- ・ ホーム光正寺夜間支援職員の配置がなかったが、入居者の状況を勘案し週1回配置。
- ・ H28年1月よりショートステイどんたくと一体的な運営開始。
- ・ 職員管理、入居者支援内容管理のためのソフト購入。28年度より運用予定。

〔ちゃれんじ〕

- ・ 昨年度は愛着障害への対応が求められたが、今年度は行動障害の対応が求められた。今後は利用者の状況によって定員4名のところ3名受入れの可能性を支援課と協議した。行動障害による支援量と本人の状況から週1回の利用の方も1名あった。
- ・ 利用終了と共にグループホーム入居者0名。
- ・ 主訴愛着形成不全等、多様な方の利用がみられこれまでとは違った対応が支援員に求められた。
- ・ 本体ホームとちゃれんじホームの食事、勤務体系全てを本体ホーム業務に一元化。

5 監査指摘事項及び改善状況

平成27年度監査なし

6 その他問題点及び反省点

[本体]

- ・ 職員の退職に対して、充足がおいつかなかった。職員体制について法人全体で協議。次年度にむけて異動も含め常勤職員の補充を検討。
- ・ 新人職員の指導方法が確立しておらず次年度にむけて検討。
- ・

[ちゃれんじ]

- ・ 過剰服薬による事故2件あり。
- ・ コーディネーター、支援員ともに昨年課題となっていた軽度知的障害、発達障害の方への対応に加え、行動障害のある方への対応のスキルが必要

H ニコニコハウス鳴海（生活介護事業）

1 対象者

18歳以上の知的障害者、身体障害者、精神障害者

2 利用定員

20名

3 職員構成

常勤	4名	管理者・生活支援員の兼務1、サービス管理責任者1、生活支援員2 ※1月より管理者の交代あり
非常勤	10名	生活支援員7（内調理員と兼務2）、看護師2、嘱託医1

4 事業実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用者数	344	295	352	348	293	298	344	314	321	301	306	340	3856
提供日数	21	18	23	23	19	20	22	20	20	20	19	20	245
平均利用者数	16.4	16.4	15.3	15.1	15.4	14.9	15.6	15.7	16.1	15.1	16.1	17.0	15.8

5 監査指摘事項及び改善状況

平成27年度監査なし

6 その他問題点及び反省事項

- ・ ニコなるサタデーとして6月より月一回土曜日開所を行った。開始当初は利用する方は一部の利用者だけであったが、回数を重ねるごとに利用する方が増え、一年間行うことにより活動として定着することができた。一年目ということも

あって毎月企画する必要があり、企画を立てることに苦慮することもあった。一年間の実績が作ることができたので、好評であった企画については定例化して今後も引き続き行っていくことを予定している。

- ・創作物や農作物の地域に向けた販売という側面では、法人の祭りや区民祭り以外の販路を見出す事ができなかった。その為、創作物などは特に、祭りの為に作るという短期集中型の取り組みになりがちだった。今後、販路の拡大を目指すには、創作における販売物の制作を定着化させ、完成度を高めていく必要がある。
- ・三ヶ月に一回のペースで事業所内勉強会を実施。インシデントプロセス法を用いたケース検討会、嘱託医を招いてのケース検討会、他事業所の管理者による介護技術の勉強会などを行った。勉強会後には参加者に向けたアンケートも実施したもの、徐々に「今後勉強したいこと」に偏りや消極的な意見が目立ち、非常勤職員の参加の確保が難しかった。今後は、常勤・嘱託職員は元より、非常勤職員にも外部研修への参加してもらうことを検討する。
- ・非常階段設置を検討したが、今年度は設置することができなかった。

I ニコニコハウス鶴里(生活介護事業)

1 利用者状況(平成27年4月1日現在、定員40名、現員45名)

年齢別	～25歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～44歳	45歳～	合計
男	0	1	2	11	6	0	20
女	0	0	4	12	6	2	24
合計	0	1	6	23	12	2	44

*入・退所状況

入所	1
退所	0

*障害支援区分(平成28年3月31日現在)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
人数	0	1	3	23	14	3	44

2 職員構成(平成27年4月1日現在)

常勤	8名	管理者1、サービス管理責任者2、生活支援員6
非常勤	20名	生活支援員12、看護職員2、調理員3、運転職員2、嘱託医1

*入職・退職状況

入職	3
退職	2

3 事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	45	45	
述べ人数	835	711	878	870	732	714	820	754	756	734	852	893	9549
事業日数	21	18	25	24	23	21	26	25	21	22	22	24	272
平均	39.7	39.5	35.1	36.3	31.8	34	31.5	30.2	36	33.4	38.7	37.2	35.1

欠席対応	21	12	6	19	11	9	11	15	7	30	10	13	164
------	----	----	---	----	----	---	----	----	---	----	----	----	-----

送迎日数	327	270	342	303	233	219	295	276	280	268	313	337	3463
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

4 主な行事

- ・4/17 全体行事：顔合わせ会 ・6/6、7 有松絞り祭り出店 ・8/2 法人夏祭り
- ・9/26 全体行事：日帰り旅行 ～長島スパーランド～ ・10/5 地震避難訓練
- ・10/25 さわやかウォーク出店 ・11/5 大高クリニックこころの健康相談 11/8 南区区民祭り出店
- ・11/21 法人秋祭り ・12/24 全体行事：忘年会 ・12/28 施設大掃除 1/5 全体行事：新年会
- ・1/24 害虫駆除 ・1/29 健康診断 ・2/11 全体行事：ニコニココラボレーションカーニバル（即売会）
- ・3/25 全体行事：慰労会

その他行事

- ・お誕生日会（毎月）
- ・各部署ごとのお楽しみ活動（水族館、名古屋ドーム前イオン、栄散策、DVD鑑賞会など）

5 特記実施事項

- ・サマーボランティア受け入れ（2名）
- ・福祉系学生実習生受け入れ（6名） 保育系学生実習生受け入れ（8名）
- ・1月より管理者の交代があった。
- ・弁当屋で月2回土曜日の開所をした。
- ・職員全体でのケース会議、衛生の勉強会などを行った。
- ・2月より新規で1名利用を開始した。

6 監査指摘事項及び改善状況

平成27年度監査なし

7 その他の問題点及び反省事項

- ・利用者工賃を時給100円で設定したが、余剰分を年度末にボーナスとして支給することができた。
- ・それぞれの部署で作業内容などが落ち着いてきたが、対応に苦慮する個々の利用者への支援について有効な支援方法の確立には至っていない。
- ・部署活動（お楽しみ活動）で部署によって予算や内容に差が出てしまった。年間を通しての予算配分、内容の選定が必要。
- ・衛生面での利用者、職員個々の意識は向上しているが、衛生基準があいまいな部分もあり全体としての統一が必要。
- ・常勤でのミーティングは定例で開催できたが、部署によってはミーティングの開催が不定期だった。部署ごとでのケース検討や取り組みが不十分だった。